

ぐりぐりマニア

ちょっと
ディープな
ふるさと愛

「ここで撮りましょう!」と勢いよくSLに乗り込んだバービーさん。アンニュイな表情の意図するものは…?

バービーさん、栗山で飛ぶ!?

「部活帰りに友達とよく、あ

いすの家」でアイスのダブルを食べて、「大鵬」でネギみそラーメンの大盛りを食べてましたね。そのあと家の晩御飯も食べるのに笑」

栗山公園をぶらりと歩きながら、思春期のキョんキョんする思い出、小さい頃にロバに手を噛まれた(ー)思い出を振り返り、栗山への思いを話してくれました。

「2、3年くらい前かな。ドラマの仕事で故郷を守ることの難しさ、大切さに気付かされることがあったんですけど、ね。ちょうど甥っ子も産まれたりして、その頃から栗山を盛り上げたいと思いはじめたんです」

栗山には美しい景色がある、おいしいものがある、素晴らしい技術がある、労働力がある、空き家がある。これらをもっともっと多くの人に広めたい。そんな思いが募り、町おこしの相談をしに元日から

役場を訪れたとい

います。

「まず動かなきゃって。小さいことをコツコツと、もいけれど、ジャンプだってできるんですよ、私も、みんなも」そう熱く語りながらも「でも

…」と、こう続けました。

「描いている未来図は人それぞれ。だからとにかく今は町の人の声を聞きたいなって。それもあって、ちよくちよく帰ってきてるんです」

目指すのは、栗山で暮らす人が納得する町づくり。そして最後にこんな頼もしい一言を残してくれました。

「栗山の未来? ワクワクしかないですよー今はベストな方向を探っているところですが、妄想で終わらせません!」



「バービーだー!!」突然の登場に
歓声が響き渡る体育館。児童と
先生と記念撮影。



バービー
じゃないよ〜



キャバババ!



はい、
アメちゃんだよー



久しぶりの再会に盛り上がり、まさかの知事選出馬(!?)の話に…。

角田小学校サプライズ訪問!

バービーさん、
恩師に会いにゆく

次に訪れたのは、中学生時代の
恩師が勤務する栗山町立角
田小学校。当校の教頭となっ
た堀文彦先生と、当時のこと、
これからの栗山のこと、ゆっく
り話してもらいました。

バービー「お久しぶりです〜!!」
堀「テレビでよく見るから、久

しぶりな感じしない〜笑

バービー「教頭先生になられて

てびっくりですよ。昔はカッコ

よくてみんなの憧れの先生で、

堀「ははは笑。バービーは当時

シャイで可愛らしかったよね。

今のはつちやけつぷりが信じら

れないくらい」

バービー「そうそう、私可愛い

かったんですよ〜笑」

笑。逆に中学生の頃か

ら変わらないなと思うところ

はありますか？」

バービー「思い返すとその頃か

ら創作活動が好きだったのか

も。学校祭でペーパードレスを

作って大賞をもらったことが

あったんですけど、今も洋服を

デザインしたり作ったりするこ

とが好きなんですよね」

堀「じゃあ、うちのヨ

サコイチーム(くり

やまOH!!夢乱咲)

の衣装作ってよ!」

バービー「かなり過激なデザイ

ンになりますよ?」

堀「それはダメ

だ!!笑」

バービー「です

よね〜」

堀「よくこつちに帰ってきてる

んだって?」

バービー「そうなんです。実

家で休んだり、あとは同級生と

集まったりしてますね」

それは同窓会的な目的

で?」

バービー「それもあるんですけ

ど、栗山のために何ができるか

を話し合う会でもあるんです」

堀「いや〜うれしいね〜」

バービー「私、栗山の未来を考

え始めると妄想が止まらなく

て一日経っちゃうんですよ。た

とえば、庭のきれいな町にした

らどうだろうとか、思い出横丁

を作ったらどうだろうとか…」

堀「すばらしいじゃない。ちよう

ど今、授業でも町おこしを取

り上げてるんだよね。栗パフェ

を考案する子がいたり、子ども

ならではのアイデアがバンバ

バービー
(フォーリンラブ)

言わずと知れた栗山町出身のお笑
い芸人。北海道栗山高等学校卒業
後、進学のため上京し、現在はワタ
ナベエンターテインメント所属。大
人から子供まで幅広く人気を集め
る。多忙を極める今も、休みを見つ
けては栗山町に帰省している。



堀「どう?やる?」
バービー「…え?ち、知事?い
やいやいやいや、ないですよ!
笑」



ね!そしてちびっこに町おこし
の大切さを教える、というのが
すごい。これは大事なことでと
思います」
——これからの栗山にとっ

堀文彦教頭と息のあった
「イエス、フォーリンラブ!」

自慢の米こうじと醤油、ぼん酢。栗山町内では『味道広路』『K・KITANO』『仲井果実店』『値ごろ市』で販売中。



「町の人に愛される醸造屋になりたい」
池下雄介さんは全国でも数少ない醸造蔵を、ここ栗山で営んでいます。大手食肉メーカー等、企業へ醤油や味噌などを卸す一方で、今、池下さんが力を入れているのは米こうじ。昨今の甘酒ブームもあり、味噌作りや飯寿司などの昔ながらの使い方に留まらない、使用用途の広がりにも可能性を感じたのだとか。そこで最近では、北海道で良質な商品を作る人気店とのコラボレーションにもチャレンジしています。北海道産素材

ハットする米こうじ、栗山にあります

知ってますか？ 蝦夷ノ富士醸造

材を使ったジャムやディップなどを製造販売する有名メーカーの商品に使用する糖として採用されているほか、札幌で工場とカフェ・ショップが一体となった店舗を設けている『サタデイズ チョコレート』では、『蝦夷ノ富士醸造』の米こうじを使ったチョコレートドリンクが期間限定で販売される予定。積極的に米こうじの新しい使い方を提案し続けています。米こうじの未知の可能性を追い求めるかたわら、ご家庭で使いやすい商品の販売もしっかりと行っています。池下さんおすすめの米こうじの食べ方はやはり甘酒。糀からつくるレシピはいくつかありますが、『蝦夷



蝦夷ノ富士醸造 池下雄介

醸造蔵の次男として生まれる。東京農業大学醸造学部で米こうじについて研究し、醸造・発酵に関して学ぶ。実家へ戻った後、新たな可能性を多くの方へ届けるべく独立。2016年春、栗山の地に『蝦夷ノ富士醸造』を立ち上げる。

合同会社 蝦夷ノ富士醸造

〒069-1521
北海道夕張郡栗山町錦3丁目130
TEL0123-76-9135 FAX011-351-5359
Email info@ezofuji-brewing.co.jp

◎米こうじは栗山町内なら配達も可能。
お気軽にお電話を。

ノ富士醸造』の米こうじで作る甘酒は「砂糖を入れていないのにこんなに甘いなんて！」と驚くことうけあいだとか。これからの手作り味噌の仕込みにもおすすめです。
自宅用としてはもちろん、手土産にも喜ばれる新しい栗山の味、伝統と革新が融合した奥深い味、ぜひ気軽に味わってみてください。



米作り体験の、楽しい締めくり

田植えから、草取り、稲刈り、脱穀と米作りを一から学ぶ「ふる里山くり山の米づくり」も3年目。これは、雨煙別小学校の環境教育リーダーである諸橋淳さんが、暮らしの要である「食」を身近に感じてもら

冬も元気に、ハサンベツ里山体験

おうと企画した里山体験です。自然との触れ合いはもちろん、釘、紐、小刀などの道具との触れ合いも子供たちにとっては新鮮な学びの一つ。初夏から秋にかけて、泥だらけになりながらも育てたお米は3俵分となり、諸橋さんも「今回は豊作でできがいいね！」と太鼓判を押す収穫となりました。
「せーのー！よいしょー！」
威勢のいい声が響く、冬の雨煙別小学校。この日は米作り体験の最終章である、餅つきが行



杵が重かったけど楽しかったよ!



大島真歩ちゃん(8才)

雨煙別小学校
コカ・コーラ環境ハウス

〒069-1503
北海道夕張郡栗山町雨煙別1-4
特定非営利活動法人 雨煙別学校
TEL/FAX 0123-72-1696

イベント情報はHPをチェック!
<http://uenbetsu.jp/>

自然と学びを組み合わせたアクティブラーニングの取り組みは全国的に広がっているものの、小中学校の教育に特化したプログラムは栗山ならではの。2月、3月は「スノーシュー体験」「イグルーづくり」など冬を楽しむプログラムを続々企画しています。



「くりエイト」が集まる 雑貨店&フリースペース

2017年9月、旧広瀬商店が、「くりエイト」する人のためのマーケット&休憩スペース『くりやまクリエイターズマーケット』として生まれ変わりました。

この店舗の運営主体は栗山町。町では2015年から継続して、栗山町の発展と、若者層の移住定住を推し進めるために、町民のみなさんをはじめ、町外の方たちへのアンケート調査やワークショップを実施。これからのまちづくりのための合言葉として「くりエイト

するまち 栗山町」を掲げ、さまざまな「くりエイト」な施策に取り組んでいます。

その一環である『くりやまクリエイターズマーケット』では、町内外の作家さんのオリジナル雑貨販売のほか、不定期に作家さんによるワークショップも実施しています。また、休憩スペースではコーヒーも一杯無料でお飲みいただけますので、ぜひお近くにお立ち寄りの際は、遊びにきてください。



くりやまクリエイターズマーケット
(不定期営業)

- 場所: 旧広瀬商店(栗山町中央3-6)
- 2月は毎週木曜日営業(2/1、8、15、22)



2月のワークショップ

- 2月4日(日)『Luna Peridot』革小物販売、レザークラフト体験500円～
- 2月25日(日)『軟石や』札幌軟石でつくる雑貨販売、アロマストーン絵付け体験1,000円 等



LINEで来店ポイントを貯めよう!

LINEで『くりやまクリエイターズマーケット』を友達登録! 来店ポイントを貯めると、5ポイントで手触りふわふわの「くりエイトするまち 栗山町タオル」をプレゼントします。

登録はこちら

- LINEの検索窓で「くりやま」を検索
- LINE ID「dkt3284s」を検索



読者プレゼント

本誌についてのアンケートにご協力ください。お答えいただいた方の中から抽選で20名様に、栗山町在住の陶芸家、石川進一さん(SUSU窯)謹製の「くりエイトするまち 栗山町 オリジナルくり型とつくり」をプレゼントします。

■回答期限: 2018年3月31日(土)まで



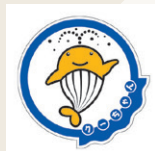
アンケートはこちら
<https://ssl.form-mailer.jp/fms/f396a752552833>



くりやまニアからのご挨拶

みなさん、はじめまして。本誌『くりやまニア』は、栗山町の若者定住推進プロジェクトの一環として定めた合言葉「くりエイトするまち 栗山町」のもと、栗山町民のみなさんはもちろん、栗山に興味があるみなさんに「栗山の新しく、ふか〜い情報」を知っていただくために制作したフリーペーパーです。

住んでいても、知っているようで知らないこと、気付かなかつたすこいこと、この町には胸を張って自慢できるような資産がたくさんあります。私たちは、そんな栗山町の魅力を、もっともっと広げていきたいと思っています。ぜひみなさんも、この町の良いところ、好きなところをどんどん人に伝えて、まちづくりを協力していただければ幸いです。



この事業はサマージャンボくじの収益金を活用して実施しています。

本誌について、くりやま若者シティプロモーションについてのお問い合わせ

栗山町若者定住推進室

TEL0123-73-7521 FAX0123-72-3179



くりやまほっとらいふ



くりエイトするまち
山町
KURIYAMA TOWN